

かささぎ



北京日本人学校
学校通信 第7号
令和元年11月29日
校長 栗本 和明

北京日本人学校 教頭 小川 裕子

11月8日の中学部「文化祭」、11月15日の小学部「学習発表会」たくさんの保護者の皆様にご参観いただき、ご声援をいただき誠にありがとうございました。子ども達は日々の学びの成果を存分に発揮したと思います。子ども達一人ひとりの熱意や、互いに協力してこそ生まれるパワーを感じ、力をもらったように思います。子ども達に負けないよう私も子ども達がより力を発揮できる学校を支えるために頑張っていきたいと思います。



天才物理学者のアインシュタインは「想像力は知識より大切だ。知識には限界があるが、想像力は世界を包み込む。」という言葉を残しています。また、新しい学習指導要領にも子ども達に「複雑で変化の激しい社会の中で…（中略）…他者と一緒に生き、課題を解決していくための力」を身に付けさせることが必要と明記されています。沢山の知識を頭の中に詰め込んだとしても、それだけではこれからもめまぐるしく変化する社会の中で課題を解決しながら生きていくための力にはならないということです。もちろん知識は大切です。しかし、知識と知識を結び付けたり、結果を予測したり、よりよいアプローチを見つけ出したりするためには想像力が無ければならないと思います。

「文化祭」「学習発表会」の準備期間に、「どうしたら観客に伝わるか」、「どうしたら楽しんでもらえるか」、「こんな風にしてみたらどうだろう」…ああでもない、こうでもないと考え、意見合いながら試行錯誤を繰り返している子ども達の姿を見て、ふと、このように「想像力」の大切さについて考えました。

最近情報はあふれているので、すぐに助言が得られたり、答えがわかってしまったりする場面も多くあり、「心ゆくまでとことん想像する」という機会が少なくなっていると感じます。レストランに行くと写真入りのメニューを眺めるだけでどんな食べ物かすぐにわかります。文字からどんな食べ物か想像する必要なく、注文するものを選ぶことができます。たまに文字だけのメニューを見るとなかなか決められないことがあり、自分の想像力の低下を不安に感じてしまいます。どこかに行くときもそうです。昔は地図を見たり電車やバスの路線図を見たりして少しでも早く、効率的に移動できる手段はないかと考えなければならなりません。また、行ってみるまでどんなところかわからないこともありました。今はどうでしょうか。パソコンやスマートフォンに行先を入力するだけで、たくさんの写真が出てきてどんなところか一目瞭然、最速な移動方法、最安な移動手段までわかってしまいます。

高度情報化やAIの進歩で現在の生活は格段に便利になりましたが、もうずいぶん前から「近い将来今ある職業のうち多くの職業が人間の仕事ではなくなる」ともいわれています。かのアインシュタインは、はたしてこのような未来を「想像」できていたのでしょうか。このような時代だからこそ、人間に備わった力をしっかりと伸ばしていかなければならないのではないかと思います。

私自身も「想像力」を高める努力をしようと思いますが、子ども達にもたくさんの想像をしてほしいと思います。人の気持ちを想像すると「思いやりの気持ち」が生まれるでしょう。自分の未来を想像すると「今、すべきこと」や「しない方がいいこと」に自ら気が付くかもしれません。教師や保護者などの子どもを取り巻く大人は、子ども達が思う存分「想像」できるような環境を作り、その想像から何が生まれるのかを「想像」しながら責任をもって見守る、そんな役割を果たしたいものですね。



「修学旅行を終えて」

小学部 6年生

10月16～18日に西安に修学旅行に行ってきました。天候に恵まれた3日間。子ども達は多くのことを学んできました。

事前学習で城壁や兵馬俑などの歴史を学習しましたが、実際に見て驚くことばかりで、まさに「百聞は一見にしかず」でした。昔の人々の知恵がたくさん詰まった城壁。始皇帝の権力の強さを目の当たりにすることができた兵馬俑。当時、遣唐使として中国に渡り、抜群の才能を発揮した阿倍仲麻呂の石碑。そして、日本人にも西遊記の登場人物として馴染みのある三蔵法師を奉った大雁塔。中国でしか味わえない、歴史を感じられる旅となりました。

また、北京日本人学校の代表として公共のマナーを守ることも意識して行動しました。「人生に一度しかないこのメンバーで行く修学旅行を思い出に残るものにしたい。」行く前にみんなで確かめ合ったこの想いを体現した最高の3日間となりました。



「北京首都国際空港学習」

中学部 1年生

中学部1年生は11月26日、全員が一度は利用したことがある「北京首都国際空港」の工夫を全日本空輸株式会社様のご協力により調査してきました。事前学習では、空港で働く人について調べたり、空港を利用した実体験をもとに、目に見えていない裏側の仕事について考えたりしました。

校外学習当日は、整備・接客・貨物・運航支援者など、専門のスタッフの方に来ていただいたり、この学習の為に作っていただいた映像を視聴したりして、多くの専門的な知識を学ばせていただきました。現役の客室乗務員の方によるマナー講座では、お辞儀の仕方や、身だしなみの必要性などを学びました。機内食を作るケータリング会社を見学から、安全や安心への配慮を学びました。

何気なく利用している空港は、その裏側で自分たちが考えている以上に、多くの人々の力によって支えられていることを知る貴重な学習になりました。



事務局のまど

このたび事務局のコラムを新たに開始することになりました！事務局の観点から学校のあんなことこんなことをお伝えします。さて、短い秋が過ぎ、北京は冬に突入しました。学校も11月8日から暖気を開始し、校内の空気はほんわかしています。将来、子供たちが寒風に吹かれたとき、北京日本人学校の冬の暖気を思い出して、気持ちをはっきりさせてもらえたらいいなと思いつつ、自校ボイラーを動かしています。

(事務局長 倉片)

まだい妻何人？

令和元年 11月 29日現在

	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	9	10	19	4-1	10	11	21
1-2	9	11	20	4-2	9	11	20
1-3	9	10	19	5-1	15	11	26
2-1	11	10	21	5-2	15	12	27
2-2	11	9	20	6-1	9	8	17
3-1	8	12	20	6-2	10	8	18
3-2	9	12	21	小総計	134	135	269

1-1	8	7	15	3-1	14	8	22
1-2	8	8	16	中総計	38	35	73
2-1	8	12	20	総合計	172	170	342